

## ケルン市内自転車小売店調査

### 1. 自転車小売店調査

#### 調査店舗①

ケルン中央駅から地下鉄で3駅程にある中型規模の店舗で、MTBはチェッカーピッグがメインで30台程展示されており、販売価格は500~1,000ユーロ(65,500~131,000円)、シティ車やトレッキング車は20台、BBFやパンサーを中心に価格帯は400~700ユーロ(52,400~91,700円)の商品展開であった。入口には全品10%引きのポスターの掲示もあった。ロードレーサーは、イタリアのポッテキアやモゼールなど5台程、更に2階にはクロモリフレームが20本ほど吊るされていた。また、電動アシスト車は店内に見当たらなかった。



調査店舗①



店内の様子



10%引きの表示



2階に吊るされたフレーム

## 調査店舗②

MTB、クロスバイク等のスポーツ車がメインで、1,500ユーロ(196,500円)を超える高級車はFELTを中心に20台程展示されており、価格帯700~1,000ユーロ(91,700~131,000円)の中級車はSTEVENSがメインであった。700ユーロ(91,700円)以下の入門車もSTEVENSが多く、廉価なトレッキング車ではステッペンウルフも展示されていた。更に色とりどりのビーチクルーザー10台、BMX10台もあり、店内ではスケードボードやインラインスケートなども併売されていた。スタッフは20代の店員が多く、店内の雰囲気や取扱商品から若年層を十分に意識した店づくりであった。



調査店舗②



スポーツ車売り場



ビーチクルーザーも多い



部品、付属品売り場

## 調査店舗③

この店舗は、売り場が数か所の部屋に分かれるユニークなレイアウトとなっていた。元は別の用途で使われていたスペースを後から自転車店舗に転用していた。スポーツ車は、STEVENSを中心にロードレーサーやMTBは、高級車20台、中級車50台の中規模の室があり、それとは別に会計と部品、付属品とともに入門用のMTB、トレッキング車が50台、シングルスピード車も10台、シティ車10台ほどが置いてある大部屋があった。更にヘルメットだけがある小部屋もあり、店内通路にはビーチクルーザーが20台並ぶ。従業員は、皆若く親しみ易かった。彼らの個性により独特の雰囲気が形作られ、店内は活気に満ちあれていた。



調査店舗③



通路に並ぶビーチクルーザー



大部屋売り場



ヘルメット専門小部屋



中部屋売り場



整備室

#### 調査店舗④

店舗の間口を見た限りでは小型店だが売り場は奥行きがあり中型店舗に属する。MTB はメリダ、Haibike を中心に 40 台、シティ車やトレッキング車はヴィノーラを中心に 30 台程展示されていた。奥に広がる整備場や倉庫が充実し、訪問時も 2 名の作業員が自転車整備を行っていた。



調査店舗④



店内の様子



奥行きある店内



充実した整備場

#### 調査店舗⑤

1,000 台の展示車を数える大型店舗で、電動アシスト車もガゼレ、ジャイアント、コガ・ミヤタなど高額車が 10 台近く揃い質量共に充実していた。スポーツ車やトレッキング車は、KTM、ジャイアントを中心に、価格の高いものが多く、整然と並べられた数多くの自転車と、高級感すら漂う売り場はケルン市内でも有数のものであり、店内撮影が許可されなかったのが非常に残念であった。

#### 調査店舗⑥

コロンバスのシティ車、トレッキング車が 10 台程ある小型店であった。訪問時には従業員は女性客とハンドル交換について商談中であり、更にオーナー不在のため店内撮影の許可はとれなかった。

#### 調査店舗⑦

ZEG（自転車関連製品の共同仕入れ組合）メンバーの店で、店内に自転車は 150 台程展示されていた。高級スポーツ車は、ラピエールやスペシャライズドなどで、中級から入門車は、KTM と BULLS が中心、トレッキング車は、ダイヤモンド、ペガサスなどがメインの商品展開であった。店内は整然と自転車が並べられ、大変雰囲気の良い内容の店舗であったが、責任者不在のため店内撮影の許可は取れなかった。



調査店舗⑥



調査店舗⑦

### 調査店舗⑧

VSF Fahrrad (自転車小売組合ブランド) のシティ車やトレッキング車が 50 台、価格帯は 700~1,200 ユーロ (91,700~157,200 円) であった。他にはカゼレのダッチバイクが 5 台あり、電動アシスト車はガゼレ 1 台のみであった。一方で MTB、ロードレーサー等のスポーツ車は殆どなかった。



調査店舗⑧



通路にも在庫



主力の VSF Fahrrad



店内の様子

同店はケルン大学に近く、周辺には学生を中心に自転車利用者も多いが、毎日利用するような人は通常の自転車でも性能的には十分であり、電動アシスト車は高額すぎるのでケルンでは普及しないのではないかと意見であった。

#### 参考 1；店舗⑨（子供用品専門店）

同店は通常の自転車小売店ではないが、幼児車、子供車ほか、トレーラーや幼児用座席、幼児用歩行車など、幼児や子供に関する商品を専門に揃えていた。更に大人用自転車としてダホン、ヘラクレス及び R&M の小径折りたたみ車が 10 台程あった。更に小売業マニュファクチュアブランドのタンデム車やトレッキング車も数台あったが、価格は 1,500~2,000 ユーロ (196,500~262,000 円) と高額であった。同店は価格優先ではなく品質重視の品揃えという印象を受けた。因みに店内の写真撮影は不可であった。

#### 参考 2；店舗⑩

市内を移動中に偶然見つけたが、店舗昼休みのため、店内を見学することはできなかった。外から見る限りでは、クロモリフレームのスポーツ車フレームがショウウィンドに飾られるなど、ベルリンでも見られたようなクロモリフレームのスポーツ車に特化した専門性の高い店舗と見られる。



店舗⑩



シングルスピード車

## 2. まとめ

ケルンは人口 100 万近いドイツ第 4 位の都市であり、市内に自転車小売専門店も多く見られた。また、町中の主な通り沿いには自転車専用道も備えられ、調査時の厳冬期でも日中は自転車往来も頻繁であり、自転車が移動手段として人々に利用されている様子も確認できた。

ドイツ国内でも比較的電動アシスト車の普及が進んでいるとされる西部地域のノルトライン・ヴェストファーレン州第一の都市であるケルンでは、その普及が進んでいるのではないかと予想したが、実際に約 10 店舗の調査を行った結果、中小規模店舗では取り扱いがあまりなく、ケルンでは同車種の普及はまだそれほど進んでいない様子は意外であった。

以上

(デュッセルドルフ事務所)